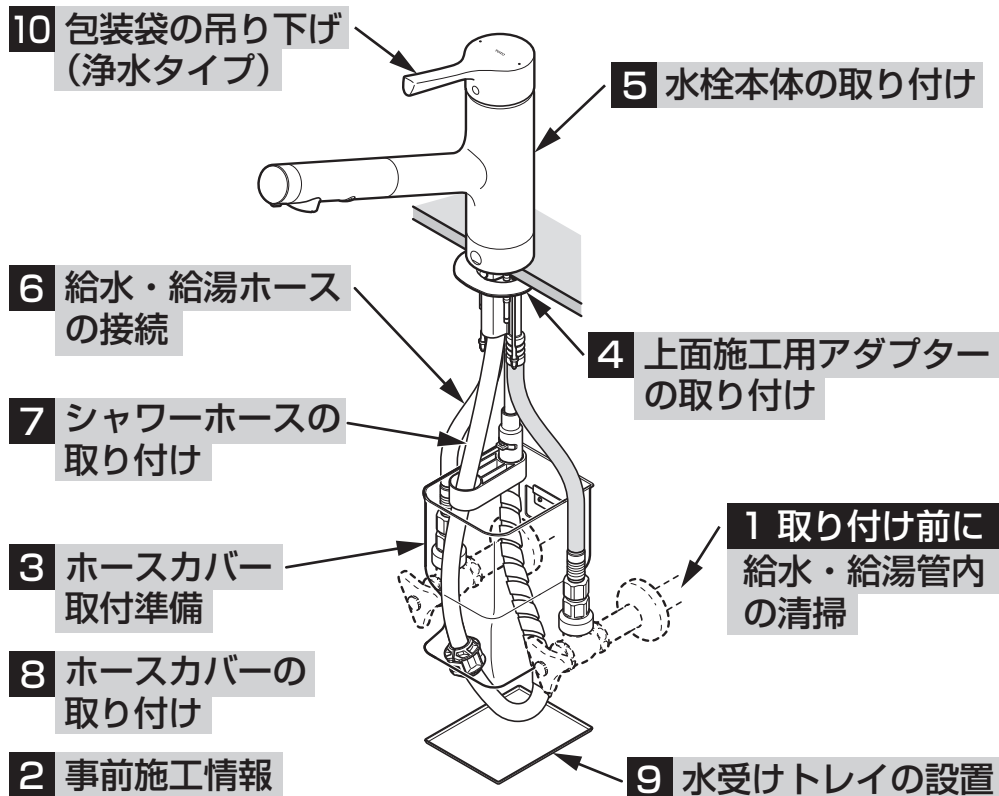


6-1. 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

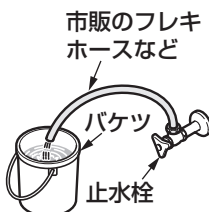
止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、
給水・給湯管内のごみ、砂などがフィル
ターや吐水口に詰まり、以下の事象が
発生します。

- ① 吐水量が少ない
 - ② 温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなど
とバケツを準備し、止水
栓に市販のフレキホース
などを接続して、ゆっく
りと止水栓を開け、給水・
給湯管内のごみ、砂など
を洗い流してください。



**重
要**

2 事前施工情報

- 同梱部材として、ホースカバーと水受けトレイをご用意しております。
- ホースカバーは、シャワーホースの引き出し操作時に周辺部材（止水栓やキャビネット引き出しなど）との干渉を避け、スムーズな操作ができるよう取り付けをおすすめします。
- 水受けトレイは、水栓本体のすき間などから万が一カウンター内部に水が入った場合でも、浸入水がキャビネットに滴下しないよう、シャワーホース真下への取り付けをおすすめします。
- ホースカバーを設置する場合は下記推奨ガイドの位置に取り付けてください。
- 推奨ガイド位置以外でホースカバーを設置する場合、またはホースカバーを設置しない場合はシャワーホースが周辺部材と干渉せずにスムーズに動作することを確認してください。

ホースカバー設置の推奨ガイド	
止水栓が左右対称の場合	止水栓が片側偏心の場合
<p>止水栓が左右対称の場合</p> <p>（単位：mm）</p> <p>カウンター</p> <p>min 235</p> <p>max 465</p> <p>min 435</p> <p>125</p> <p>200</p> <p>min 160 ~ max 265 （※1 max 225） （長住協：200 ± 10）</p> <p>ホース カバー</p> <p>止水栓</p>	<p>止水栓が片側偏心の場合</p> <p>（単位：mm）</p> <p>カウンター</p> <p>min 235</p> <p>max 70 （※1 max 50）</p> <p>max 465</p> <p>min 435</p> <p>min 65 ~ max 115 （長住協対応）</p> <p>max 133 （※1 max 113）</p> <p>止水栓</p>

※1 寒冷地仕様の場合

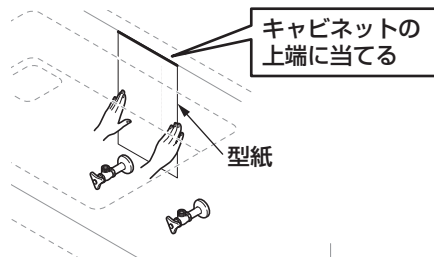
※2 上記破線範囲がホースカバー設置のための必要空間になります。

※3 ホースカバーの上側、下側にやむを得ず分岐金具や配線などを設置する場合は、水栓本体やシャワーホースと干渉しないよう注意してください。

3 ホースカバー取付準備

- ① 付属の型紙をキャビネットの裏板にあて、3カ所の下穴φ2mmをあける。

型紙のセンターラインを水栓本体の中心にあわせて位置決めしてください。



- ② 上方2カ所の下穴にあわせて、フックを取り付ける。

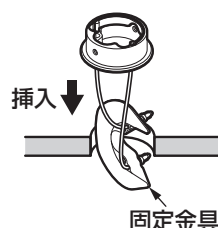
※電動ドライバーは使用しないでください。

※ホースカバー自体の取り付けは水栓本体取り付け後になります。

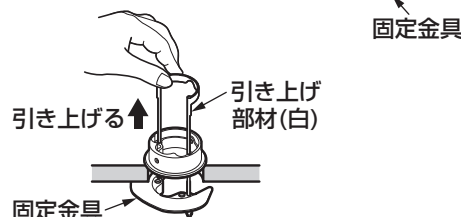


4 上面施工用アダプターの取り付け

- ① ボルト・座金 (2本) を外して固定金具を取付穴に挿入する。



- ② 上面施工用アダプターの方向をあわせ、固定金具が当たるまで引き上げ部材を引き上げる。

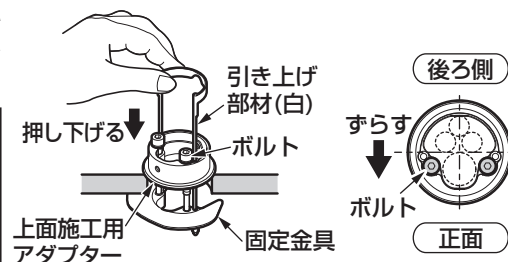


- ③ 引き上げ部材を引き上げたまま、ボルト・座金 (2本) を固定金具に通し、手締めで4~5回転ねじ込む。

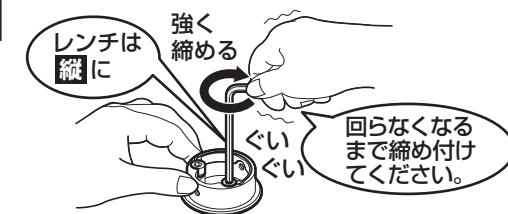
位置調整のため、最後までねじ込まないでください。



- ④ 引き上げ部材・ボルト・座金 (2本) を押し下げ、上面施工用アダプターをボルトの方向に当たるまでずらす。



- ⑤ ボルトに六角棒レンチを縦に差し込み、2本のボルトを交互に強く締め付ける。



- ⑥ さらに六角棒レンチを横にして2本のボルトを交互にしっかり締め付け、確実に固定する。

注意

2本のボルトがどちらも回らなくなるまで締め付けてください。



上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付けて**ください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は **固めの補強板 (合板など) を取り付けて**ください。
- 補強板が **十分乾燥した状態で取り付けて**ください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り **ドライヤーで乾かして**ください。
- 取付面に **養生シート** などがあれば取り除いてください。
- 取付可能なカウンター穴径は **φ35~φ39** です。